第 1 日目（11 月 19 日（金））

第 1 会場（大会議室 A1 ＋ 2）

8：50～9：00

開会式

9：00～10：00

特別講演

座長　小林　誠人（鳥取県立中央病院　救命救急センター・集中治療センター）

『ICT を活用した今後の航空医療』
▶益子　邦洋（医療法人社団永生会　南多摩病院）

10：10～11：20

シンポジウム 1 ／航空医療と ICT の連携

座長　奥本　克己（熊本赤十字病院　救命救急センター）
今　　明秀（八戸市立市民病院）

S1-1　沖縄県ドクターヘリにおける ICT の活用～航空医療と ICT の連携～
▶米盛　輝武（社会医療法人仁愛会　浦添総合病院　救命救急センター）

S1-2　救急自動通報（D-Call Net）によるドクターヘリ実出動最新状況
▶本村　友一（日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター）

S1-3　航空医療における ICT 活用－大分県における実運用と将来展望－
▶石井　圭亮（大分大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

S1-4　脳卒中病型予測ツール JUST-7 を活用した病院選定と迅速搬送の試み
▶岡野　雄一（熊本赤十字病院　救急科）

12：00～12：50

ランチョンセミナー　　共催：株式会社ウェザーニューズ

座長　東　衣里香（株式会社ウェザーニューズ　航空気象事業部）

『全国ドクターヘリ　平時からの飛行情報連携と多機関連携の実現』
▶高森　美枝（株式会社ウェザーニューズ　航空気象事業部）

13：10～13：40

総　会

第 1 会場（大会議室 A1 + 2）

13：40～14：20

特別企画／理事長講演　～継承と創造～

座長　高橋　　毅（国立病院機構熊本医療センター）

『ドクターヘリの歴史　法律ができるまで』
▶小濱　啓次（日本航空医療学会　名誉理事長／川崎医科大学）

『ドクターヘリの現状と今後の課題』
▶猪口　貞樹（日本航空医療学会　理事長／社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院）

14：30～15：30

企画セッション／空の産業革命と航空医療

座長　荻野　隆光（川崎医療福祉大学　健康体育学科）
　　益子　邦洋（医療法人社団永生会　南多摩病院）

K-1　救急・災害医療へのドローン実装に向けての課題と展望
▶久城　正紀（日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター）

K-2　レベル 4 時代の安全な空域共有に向けた機体間通信技術の開発
▶三浦　　龍（国立研究開発法人情報通信研究機構）

K-3　医療物流ドローンの普段使いによる持続可能な医療物流の構築
▶曽篠　恭裕（熊本赤十字病院）

K-4　地理情報システムとデータサイエンスによる航空医療支援
▶市川　　学（芝浦工業大学）

15：40～16：00

基調挨拶

座長　高橋　　毅（国立病院機構熊本医療センター）

『熊本県救急ヘリ二機体制の構築』
▶蒲島　郁夫（熊本県知事）

第 1 日目（11 月 19 日（金））

第 1 会場（大会議室 A1 + 2）

16：10～17：30

パネルディスカッション 1 ／ドクターヘリ・公的ヘリを用いた広域救急医療体制のあり方～特に熊本方式について～

座長　小濱　啓次（川崎医科大学）
　　篠田　伸夫（認定 NPO 法人救急ヘリ病院ネットワーク (HEM-Net)）

コメンテーター　橋本雄太郎（杏林大学大学院　国際協力研究科）

P1-1　関西広域連合におけるドクターヘリの広域救急医療体制の構築
▶中川　雄公（大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター）

P1-2　北海道の航空機搬送体制と連携～道央ドクターヘリの視点から～
▶岡本　博之（手稲渓仁会病院　救命救急センター）

P1-3　島根県におけるヘリコプター搬送手段調整の一元化
▶新納　教男（島根県立中央病院　救命救急科）

P1-4　熊本県防災消防ヘリでの現場救急活動の実際
▶渋沢　崇行（国立病院機構熊本医療センター　救命救急・集中治療部）

P1-5　熊本方式における多数傷病者に対する 2 機同時出動事案
▶清水千華子（国立病院機構熊本医療センター　救命救急・集中治療部）

P1-6　岐阜県の航空機搬送　ドクターヘリと防災ヘリ
▶北川雄一郎（岐阜大学）

P1-7　役割を明確にした航空医療のあり方
▶松村　圭祐（鳥取県立中央病院　救命救急センター）

第 1 日目（11 月 19 日（金））

第 2 会場（大会議室 A3）

10：10～11：10

委員会報告

14：30～15：40

パネルディスカッション 2 ／ COVID-19 患者に関わるフライトナースのメンタルケア

座長 坂田久美子（愛知医科大学病院　看護部）
宮崎　博之（福島県立医科大学附属病院　看護部）

P2-1 COVID-19 流行後にフライトナースが抱えるジレンマとメンタルケア
▶花山　昌浩（川崎医科大学附属病院　高度救命救急センター）

P2-2 搬送患者が COVID-19 陽性となった事例を振り返って
▶渡辺　桃子（福島県立医科大学附属病院　高度救命救急センター外来）

P2-3 A 病院フライトナースがコロナ禍で活動するストレスの現状
▶橋本菜穂美（熊本赤十字病院）

P2-4 COVID-19 患者に関わるフライトナースのメンタルケア
▶真子　敬史（久留米大学病院）

16：10～17：10

一般演題 1 ／ COVID-19

座長 高須　　修（久留米大学病院　高度救命救急センター）
米盛　輝武（浦添総合病院　救命救急センター）

01-1 長崎県離島発生の新型コロナウイルス感染症患者搬送について
▶日宇　宏之（国立病院機構長崎医療センター）

01-2 道南ドクターヘリにおける COVID-19 に対する感染対策と今後の課題
▶笹岡　早苗（市立函館病院　看護局　看護科）

01-3 コロナ禍においてドクターヘリで搬送するにはどうすればよいか？
▶水野　雄太（前橋赤十字病院）

01-4 道東ドクターヘリ　COVID-19 感染症対策の現状
▶齊　　勝敏（市立釧路総合病院　救命救急センター）

01-5 新型コロナウイルス感染症流行期における群馬ドクターヘリ活動
▶藤塚　健次（前橋赤十字病院　高度救命救急センター　集中治療科救急科）

第 1 日目（11 月 19 日（金））

第 3 会場（中会議室 C1 ＋ 2）

10：00～11：00

一般演題 2 ／現場活動：看護

座長　大鋸　立邦（富山県立中央病院　救命救急センター）
藤尾　政子（川崎医科大学附属病院　看護部）

02-1　プレホスピタルでの倫理的問題対応力向上への取り組み
▶大友　礼子（社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会　水戸済生会総合病院）

02-2　ドクターヘリで搬送された交通外傷患者の体験
▶河井　尚美（手稲渓仁会病院　救命センター）

02-3　ドクターヘリで救急搬送された患者の体験
▶有賀　崇博（聖隷三方原病院　高度救命救急センター）

02-4　ドクターヘリによる救急医療活動での疼痛管理の実態
▶小林　譲二（信州大学医学部付属病院）

02-5　フライトナースの活動に焦点をあてた MTP 事例の検討
▶福島　　聡（埼玉医科大学総合医療センター　高度救命救急センター）

11：00～11：50

一般演題 3 ／現場活動：医療

座長　岩村　高志（佐賀県医療センター好生館　救急科）
山田　康雄（国立病院機構仙台医療センター　救命救急センター）

03-1　ドクターヘリ搬送例の一連の介入におけるバイタルサインの変化
▶川井　廉之（奈良県立医科大学　高度救命救急センター）

03-2　詳細不明の意識レベル低下でヘリ要請された上肢横紋筋融解の 1 例
▶岩崎　安博（和歌山労災病院　救急集中治療部）

03-3　病院前輸血投与を施行した内外因 2 症例の検討
▶石川　浩平（順天堂大学医学部附属静岡病院）

03-4　現場対応に苦慮した工場におけるガス爆発事故の 1 例
▶土井　智章（岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

14：30 ～ 15：30

一般演題 4 ／連携：多機関・多職種・地域

座長 阪本雄一郎（佐賀大学医学部　救急医学講座）
安田　　貢（国立病院機構水戸医療センター　救命救急センター）

04-1 セカンド体制で対応した同じランデブーポイントでの重複要請事案
▶皿井　早苗（川崎医科大学附属病院高度救命救急センター）

04-2 当院と海上保安庁間の連携検討を次事案に生かせた洋上救急 2 症例
▶権　　志成（国立病院機構長崎医療センター）

04-3 静岡県東部ドクターヘリは日本の安全保障に間接的に貢献している
▶柳川　洋一（順天堂大学医学部附属静岡病院）

04-4 外傷診療の質の維持を目的とした大阪府ドクターヘリの活用
▶中川　雄公（大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

04-5 ドクターヘリにおける救急救命士の活動報告
▶安齋　勝人（埼玉医科大学総合医療センター　救急科 (ER)）

15：30 ～ 16：30

一般演題 5 ／疾患：外因性・内因性

座長 塩見　直人（済生会滋賀県病院　救命救急センター）
中村　光伸（前橋赤十字病院　高度救命救急センター）

05-1 当院における病院前輸血の報告
▶長澤　宏樹（順天堂大学医学部附属静岡病院　救急診療科）

05-2 一時心肺停止に至ったが救命し得た大腿動脈損傷の 1 例
▶田口　裕司（製鉄記念広畑病院）

05-3 現場で除染を行いヘリ搬送したフェノールによる化学熱傷の一例
▶金苗　幹典（久留米大学医学部　救急医学講座）

05-4 当院へ医師派遣要請があった倒木外傷の検討
▶甲斐　侑穂（大分大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

05-5 脳卒中症例の病院前採血実施の有用性
▶後藤　祐加（医療法人渓仁会　手稲渓仁会病院）

16：30～17：30

一般演題 6 ／現場活動：看護／ ME・医療機器／その他

座長　本間　正人（鳥取大学医学部附属病院　救命救急センター）
吉中　香澄（熊本赤十字病院　救命救急センター）

O6-1　ドクターヘリ搬送患者の家族の不安に影響を及ぼす要因の研究
▶平原　拓馬（国立病院機構長崎医療センター）

O6-2　フライトナースの職務遂行力に関する考察～熊外傷症例を通して～
▶須貝　隆史（新潟大学医歯学総合病院）

O6-3　臨床工学士同乗の上での IABP 使用患者のドクターヘリ搬送経験
▶南　　啓介（石川県立中央病院救命救急センター）

O6-4　ドクターヘリ搬送された家族の立場から考える家族看護
▶丸岡　　綾（徳島県立中央病院　看護局）

O6-5　福井県ドクターヘリ運航開始と現在の活動
▶髙田　裕也（セントラルヘリコプターサービス株式会社）

第 1 日目（11 月 19 日（金））

第 4 会場（中会議室 D1 + 2）

10：00～11：00

一般演題 7 ／連携：多機関・多職種・地域／施設間搬送

座長　佐藤　友子（済生会熊本病院　救急総合診療センター救急科）
和氣　晃司（獨協医科大学　救急医学講座）

07-1　Dr. ヘリ運航不能時に多機関が連携したアナフィラキシー症例
▶渡邊　圭祐（鳥取県西部広域行政管理組合消防局）

07-2　病院屋上ヘリポートのドクターヘリ　ランデブーポイント化の試み
▶石川祥一朗（あいち小児保健医療総合センター　救急科）

07-3　新生児・小児転院搬送の安全な運行を目指した取り組みについて
▶芝岡　　恵（鳥取大学医学部附属病院　救命救急センター）

07-4　ドクターヘリ施設間搬送前オリエンテーションを行った 1 例
▶坂井　祐樹（富山県立中央病院）

07-5　消防防災ヘリでの ECMO 装着患者の施設間搬送を想定した実証訓練
▶小野　真義（兵庫県立加古川医療センター）

11：00～11：50

一般演題 8 ／安全・安全管理

座長　鶴田　良介（山口大学大学院医学系研究科　救急・総合診療医学）
明星　康裕（石川県立中央病院　救命救急センター）

08-1　栃木県ドクターヘリの感染対策の推移
▶須永　準里（獨協医科大学病院）

08-2　DH 要請～離陸の「適切な時間カウント」「急がない安全文化作り」
▶山本　瑞樹（朝日航洋株式会社　安全統括部）

08-3　安全な病院前輸血実施に向けた取り組み
▶小長谷真輝（順天堂大学医学部附属静岡病院）

08-4　物品管理に関する新たな取り組みの成果
▶橋本さやか（社会医療法人製鉄記念広畑病院　看護部）

14：30～15：20

一般演題 9 ／消防・防災ヘリ／災害・DMAT

座長　笠岡　俊志（熊本大学病院　災害医療教育研究センター）
櫻井　聖大（国立病院機構熊本医療センター　救命救急センター）

09-1　大規模災害時におけるドクターヘリ本部の役割と課題
▶若原　聖徳（済生会滋賀県病院　救命救急センター）

09-2　消防防災ヘリと ECMO により社会復帰した高度低体温症 2 例の経験
▶明星　康裕（石川県立中央病院　救命救急センター）

09-3　不感地帯で発生した救急事案の課題を抽出し検証した一例
▶田村　亮平（鳥取県西部広域行政管理組合消防局）

09-4　消防ヘリとドクターヘリの救助事案における協働
▶日下あかり（県立広島病院）

15：30～16：30

一般演題 10 ／運行・運行管理／固定翼

座長　花田　勝則（西日本空輸株式会社　運航部）
本村　友一（日本医科大学千葉北総病院　救命救急センター）

010-1　ベイズ法を用いた気象条件によるドクターヘリの出動回数予測
▶大西　新介（手稲渓仁会病院）

010-2　栃木県ドクターヘリキャンセル事案の検証による運用方法の考察
▶菊池　　仁（獨協医科大学病院　救命救急センター・集中治療部）

010-3　固定翼機による医療搬送中に発生した被雷事案
▶兵藤　　敬（中日本航空株式会社　運航管理部）

010-4　固定翼医療搬送におけるコーディネーターの取り組み
▶横沢　　莉（中日本航空株式会社　運航管理部）

010-5　航空自衛隊固定翼輸送機と医療電子機器との電磁適合性基準
▶宮脇　博基（航空自衛隊航空支援集団司令部）

16：30～17：30

一般演題 11 ／システム・データ管理／ MC・検証（体制）

座長　金子　唯（三重大学医学部附属病院　救命救急・総合集中治療センター）
　　奈良　理（手稲渓仁会病院　救命救急センター）

O11-1　熊本県におけるヘリ救急搬送体制支援システム
▶浅野　寛子（熊本赤十字病院）

O11-2　Drip and Ship 例における脳卒中病型予測ツール JUST-7 の正確性
▶岡野　雄一（熊本赤十字病院　救急科）

O11-3　WEB 会議による三重県ドクターヘリ事後検証会の現状と問題点
▶金子　唯（三重大学医学部附属病院　救命救急・総合集中治療センター）

O11-4　消防によるドクターヘリミッション中止判断は適切か 1 年間の検証
▶大鋸　立邦（富山県立中央病院）

O11-5　現場出動例において傷病者接触までに時間を要した事例の発生要因
▶吉原　秀明（鹿児島市立病院）

第２日目（11 月 20 日（土））

第１会場（大会議室 A1 ＋ 2）

9：00～10：00

教育講演／救急科 領域講習

座長　奥本　克己（熊本赤十字病院　救命救急センター）

『病院前から始まる外傷診療　～病院前外傷診療学～』
▶小林　誠人（鳥取県立中央病院 救命救急センター・集中治療センター）

10：10～11：30

シンポジウム２／航空医療における感染症患者への対応

座長　中川　雄公（大阪大学医学部附属病院　高度救命救急センター）
早川　達也（聖隷三方原病院　高度救命救急センター）

S2-1　沖縄県における離島からの COVID-19 患者空路搬送の経験 21 例から
▶米盛　輝武（社会医療法人仁愛会　浦添総合病院　救命救急センター）

S2-2　予期しない SARS-CoV-2 PCR 陽性にて３日間ドクヘリ運休に至った１例
▶寺島　嗣明（愛知医科大学病院）

S2-3　ドクターヘリの機内環境で MRSA を認めるか？
▶高橋　治郎（川崎医科大学　救急医学）

S2-4　青森県南東部 COVID-19 希薄地域での八戸 HEMS 感染対策の現状
▶近藤　英史（八戸市立市民病院　救命救急センター）

S2-5　当センターのドクターヘリによる病院前救急診療における感染対策
▶永嶋　　太（公立豊岡病院　但馬救命救急センター）

11：30～12：50

パネルディスカッション４／消防防災ヘリコプターの継承と創造

座長　北村　伸哉（君津中央病院　救命救急センター）
山田　　周（国立病院機構熊本医療センター　救命救急・集中治療部）

P4-1　防災消防ヘリに搭乗するフライトナースの現状と課題
▶松尾　僚太（国立病院機構熊本医療センター）

P4-2　「スタートダッシュ」各県防災航空隊研修を機動力に！～佐賀県防災航空隊“かちどき”～
▶吉富　　隆（佐賀県防災航空隊）

P4-3　安全運航に向けた「熊本型ヘリ救急搬送体制」について
▶十握　真一（熊本県防災消防航空隊）

P4-4　医師投入活動における安全管理
▶築島　伸明（宮崎県防災救急航空隊）

P4-5　消防防災ヘリ未導入最後の１県「おきなわ」の苦悩
▶米盛　輝武（社会医療法人仁愛会　浦添総合病院　救命救急センター）

12：50～13：00

閉会式

第２日目（11月20日（土））

第２会場（大会議室 A3））

10：10～11：40

パネルディスカッション３／地域医療における航空機の活用

座長　加藤　正哉（和歌山県立医科大学　救急集中治療医学講座）
　　髙山　隼人（長崎大学病院　地域医療支援センター）

P3-1　地域医療をサポートする宮崎県ドクターヘリの指導的医師搬送
▶金丸　勝弘（宮崎大学医学部附属病院　救命救急センター）

P3-2　長崎県におけるヘリコプターを用いた離島医療支援事業について
▶中道　親昭（国立病院機構長崎医療センター　高度救命救急センター）

P3-3　民間医療用ヘリコプター　ホワイトバードと地域医療
▶白馬　雄士（社会医療法人財団池友会福岡和白病院）

P3-4　北海道患者搬送固定翼機運航事業の進捗と課題
▶奈良　　理（手稲渓仁会病院　救命救急センター）

P3-5　ドクターデリバリーシステムは地域格差を解消する可能性がある
▶平湯　恒久（久留米大学病院　高度救命救急センター）

P3-6　多目的医療用ヘリ
▶田勢長一郎（福島県立医科大学付属病院　高度救命救急センター）

11：40～12：30

一般演題 12／教育（スタッフの育成）／その他

座長　金丸　勝弘（宮崎大学医学部附属病院　救命救急センター）
　　黒澤　慶子（大分大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

O12-1　鹿児島県警ヘリによる患者搬送訓練
▶佐藤　満仁（鹿児島市立病院　救急科）

O12-2　千葉県北部ドクターヘリで対応できなかった未出動事案と改善策
▶杉本　貴史（日本医科大学千葉北総病院）

O12-3　緊急性の高い傷病者の転院搬送を想定した連携活動の取り組み
▶外山　拓己（西尾市消防本部）

O12-4　プレホスピタル活動における動画を使用した振り返りの有用性
▶吉岡　伸悟（社会医療法人緑泉会米盛病院　看護部）

第２日目（11 月 20 日（土））

第３会場（中会議室 C1 ＋ 2）

10：30～11：30

一般演題 13 ／教育（スタッフの育成）／看護

座長　石井　圭亮（大分大学医学部附属病院　高度救命救急センター）
吉原　秀明（鹿児島市立病院　救急科）

O13-1　ドクターカーを有する当院でのフライトナース育成について
▶池淵　功恵（鳥取大学医学部附属病院）

O13-2　フライトナースのモチベーション維持に関連する要因の検討
▶今田　陽介（社会医療法人緑泉会　米盛病院　看護部）

O13-3　フライトナース育成における自己の関わりから学んだこと
▶澤邉　英孝（熊本赤十字病院）

O13-4　オンラインによるフライトナース勉強会報告
▶野澤　陽子（順天堂大学医学部附属静岡病院）

O13-5　新たなフライトナース育成の取り組みを経験して
▶瀬川瑛莉香（社会医療法人製鉄記念広畑病院　看護部）

11：40～12：30

一般演題 14 ／基地病院・受入病院／へき地医療

座長　権　　志成（国立病院機構長崎医療センター　高度救命救急センター）
岡野　雄一（熊本赤十字病院　第一救急科）

O14-1　駐機形式とピックアップ形式によるドクターヘリ出動時間の比較
▶金子　　唯（三重大学医学部附属病院　救命救急・総合集中治療センター）

O14-2　岐阜県ドクターヘリ 10 年の現状と課題
▶名知　　祥（岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

O14-3　フライトドクターの僻地派遣がドクターヘリ運用に与えた影響
▶町田　浩志（国立病院機構高崎総合医療センター　救急科）

O14-4　静岡県東部ドクターヘリ運航のコロナ禍における変化の考察
▶大坂　裕通（順天堂大学医学部附属静岡病院）